Noguchi Times

NOGUCHI INTERNATIONAL BUSINESS CONFERENCE NEWS

VOL.14
2016.7.19発行号

連載

野口医学研究所ゆかりの地をご紹介する

About Philadelphia

報告

トーマスジェファーソン大学 客員教授任命式の実施

スキルアップ研修

㈱めいとケアに於ける管理栄養士研修

お知らせ

㈱ドラッグマガジン取材
渋谷の屋外広告物について
ストレスチェックサービス

その他

野口記念インターナショナル画像診断クリニックのご案内

第24回NIBC開催内容報告

（NIBC：Noguchi International Business Conference）

2016年5月25日（水）　　於：野口医学研究所　9階会議室

『確かな未来視点を持って高齢社会と関わる』

株式会社ゴルディロックス
代表取締役
萩原 礼紀

不確かな未来の確かなこととして高齢者の増加、総人口の減少、多死社会の到来が挙げられます。長寿化と少子化により日本の総人口は2020年代には1億2,000万人を下回り、2040年代には900万人台にまで減少すると予測されます。

国の年金制度は破綻し、自分で何とかしなければならない時代がやってきます。社会システムも変わり、互助の精神が要求されてきます。また、人工知能(AI)とインターネットの発達によって企業の在り方も変化し、2012年で1,500億円だった家事代行サービスは、将来的にドローンや無人車の普及により8,000億円規模に発展すると言われています。

高齢者が介護状態にならず健康に過ごす為には病気にならないように予防することが重要で、ここに大きなビジネスチャンスがあると考えています。今後は、全国の空床ホテルを利用して開業医を誘致し、高齢者向け拠点型サービス住宅を創り、ヘルスケアツーリズムを推進していきます。

『小さな巨人！微生物ー海の宝さがし』

国立大学法人 東京海洋大学
海洋科学部 海洋生物資源学部門教授
今田 千秋

皆さんは「微生物」と聞いてどのようなイメージを持つでしょうか？ほとんどの方が「ワルモノ」とイメージされると思います。しかし、実はそれは全体の1%に過ぎず、99%は人間にとっては無関係か正義の味方なのです。

海中と陸上とでは、温度・栄養素・塩分・圧力等が全く異なる為、当然存在する微生物にも大きな違いが出てきます。本日は宝となり得る海の微生物についてお話しします。

微生物によって作られる「美白剤」には、アルブミンを超える保湿効果があることが分かり、エビやカニの変色防止効果では優位差が確認されました。
又、鉱物油分解菌を海から探し出し、自動車整備工場跡地など鉱物油で汚染された場所に撒くことで鉱物油を分解することに成功したという例もあります。

これらはほんの一部で、海にはそのチカラを解明されていない微生物が未だ数多く眠っています。今後もこの宝の山から人間活動に役立つ物質を掘り出していきます。

About Philadelphia

野口医学研究所ゆかりの地をご紹介

米国財団法人野口医学研究所が本部を置くペンシルバニア州フィラデルフィア市は、独立宣言が行われた合衆国誕生の地として有名です。
野口医学研究所と深い関わりのあるフィラデルフィアについて、今回から連載でご紹介していきます。

ペンの森 – ペンシルバニア

フィラデルフィア市庁舎の尖塔には、イギリスの植民地であった現在のアメリカ合衆国にフィラデルフィア市を建設し、ペンシルベニア州を整備したウィリアム・ペンの銅像が立っています。

ペンシルバニアは元々ペンに依って「シルバニア」（ラテン語で森の土地という意味を持つ）と名付けられていましたが、ペンに借金をしていたイングランド王のチャールズ2世がペンに敬意を表し、「ペンシルバニア」（ペンの森の土地）と改称したのだと言われています。

フィラデルフィア市庁舎

フィラデルフィア市庁舎の頂上に立つ
ウィリアム・ペンの銅像

野口英世とフィラデルフィア

ペンシルバニア大学
ローガン・ホール

1899年、海外留学を夢見ていた野口英世は、当時ジョンズ・ホプキンス大学の教授だったサイモン・フレクスナー博士に渡米の思いを伝えます。「その際は力添えしましょう」という社交辞令を真に受けた野口英世は、その翌年の1900年に、ペンシルバニア大学（ローガン・ホール研究室）に移籍していたフレクスナー博士を訪ね、働かせて欲しいと粘り強く嘆願したのです。

この時フレクスナー博士が野口英世を受け入れていなかったら、その後の輝かしい軌跡はなかったかもしれません。

トーマス・ジェファーソン大学

客員教授任命式の実施

2016年6月3日（金）　　於：トーマス・ジェファーソン大学(TJU)

米国財団法人野口医学研究所 理事長の佐野潔先生とNPO野口医学研究所 専務理事の佐藤俊彦先生が、トーマス・ジェファーソン大学客員教授に召喚され、任命式が執り行われました。

Ceremony and Celebration for Visiting Scholars

（左）　米国財団法人野口医学研究所　創立者　浅野嘉久
（中央）　米国財団法人野口医学研究所　理事長　佐野潔
（右）　トーマス・ジェファーソン大学　Joseph S .Gonnella

（左）　NPO野口医学研究所　専務理事　佐藤俊彦
（右）　トーマス・ジェファーソン大学　Chales A .Pohl

「野口」と「TJU」の良好な関係を保ち、双方協力し合うことを確認した。

【客員教授としての直近の業務】
・Dr. Hojatによって書かれた「Empathy」に関する書籍の翻訳
・全研修生の長期に亘る追跡調査(評価等)

"Empathy　in Health Professions Education and　Patient Care"

（中央）トーマス・ジェファーソン大学
Mohammadreza Hojat

現在、和訳に取り掛かっているDr. Hojatの書籍。

192th Commencement of Thomas Jefferson University

2016年6月6日、キンメル財団寄贈のフィラ・オペラハウスにて、TJUの卒業式が行われました。

管理栄養士スキルアップ研修

2016年6月6日（月)～17日（金）　　於：株式会社めいとケア

今春社団「野口」に入社した管理栄養士が、㈱めいとケア様が運営する介護付き有料老人ホーム『グランドめいと北小金』にて、研修を受けました。

栄養士業務について

献立作成
365日休みが無い為、朝、昼、夕の3食について、1ヶ月90食以上のパターンを作成する。栄養基準を守り、食材の重複が無いように考える。

衛生管理
1年を通して食中毒を予防する為に、“菌をつけない、増やさない、やっつける”を徹底している。”

原価管理
1ヶ月ごとに各施設で食材費を見直し、16施設全体で一括購入できるものを検討する。

人材管理
現場長と相談しながら厨房で働くスタッフのフォローを行う。

厨房会議
各施設の様子や厨房全体の業務について報告し、問題点を話し合う。

部会会議
お客様へのサービス向上について他職種間で話し合いをする。

原価管理、人材管理等からは、企業の経営状態を良好に保つためにはどのような工夫が必要になるのか、学ぶことができた。

摂食・嚥下の状態はお客様により異なるので、個人差を考え、食形態を変えることが大切！！

接遇研修について

接遇とは、お客様や相手をもてなす、思いやるという気持ちをもって対応すること。

入居者はお客様であり、敬意を払うことが重要である為、接遇と言葉遣いを学ぶ意味は非常に大きい。

救命講習について

実際にAEDを使用するのは初めてだったが、緊急時に備えて準備しておくことが必要だと思った。

研修を終えて

安全で美味しいお食事を提供する為には、管理栄養士として栄養バランス、彩り、食材の特徴や旬を理解した上で、献立作成をすることが大切であると感じました。

職員同士のコミュニケーションを密に図りながら施設と現場の架け橋となることが、サービス向上に役立つことを学びました。

ドラッグマガジン取材

2016年6月10日（金）　於：野口医学研究所会議室

株式会社ドラッグマガジンが発行する週刊『ドラッグトピックス』（7月4日発行号）に於いて、健康食品・サプリメント特集が組まれ、野口医学研究所の取材記事が掲載されました。

『野口医学研究所が考える サプリメントとは？』

サプリメントを飲めば元気になる、或いは健康になる、と考えている人は多くいますが、本来サプリメントというのは、“元気な人が健康を損なわない様に、元気な状態を維持するために飲むもの”です。野口医学研究所は、医食同源の考えに基づき、日常の食事の補助として継続的に利用して頂きやすい商品を開発し、販売しています。

㈱ドラッグマガジン 編集局編集部　　青柳智規

看板広告掲出開始のお知らせ

【場所】渋谷 道玄坂下交差点
（　渋谷109前　）

ストレスチェックサービス

2015年12月より、従業員50名以上の企業は1年間に１回以上従業員のストレスチェックを実施することが義務化されました。

野口医学研究所が提供する
ストレスチェックサービスの特長

■制度全般を幅広く支援
ストレスチェックの実施に留まらず、導入から高ストレス者の対応までしっかりとサポートします。

■徹底した使いやすさを実現
実施者・担当者の実務や受検者の負担を大きく軽減しました。煩雑な手続き等もお任せ下さい。

■専門家による安心サポートを実施
野口医学研究所所属の医師や専門カウンセラーに依る専門的なサポートが受けられます。

企業にとって、従業員が抱えるストレスを見つけ出し、早めに解決を図ることは両者にとって非常に大切です。
是非、野口医学研究所のサービス導入をご検討下さい。

NOGUCHI TIMES

Noguchi International Business Conference News Vol. 14

発行日　2016年7月19日
発行人　安東 恭助
発行所　米国財団法人野口医学研究所
編　集　〒105-0001　東京都港区虎ノ門1-22-13
電話　03-3501-0130
米国財団法人野口医学研究所 参与会